

ブラジル金融政策（2023年6月）

利下げが近づく

2023年6月22日

インフレ抑制に成功し、次回8月会合で利下げに踏み切るか

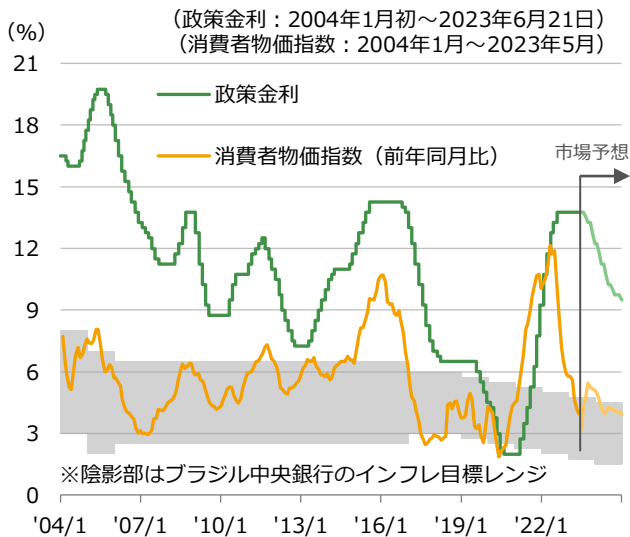
ブラジル中央銀行は6月21日（現地）、金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を13.75%に据え置くことを決定しました。据え置きは7会合連続です。

消費者物価指数は5月に前年同月比+3.9%まで鈍化しました。昨年後半の電気料金引き下げや減税の効果がはく落することで、今年後半は一時的な再加速が予想されています。しかし、こうした特殊要因の影響が小さい各種コア指数も鈍化傾向が鮮明になっており、今後もこの傾向が続くと見込まれます。

そうした中、今回の声明文は利下げ開始が近いことを示唆する内容でした。例えば、前回まで記載されていた「インフレ率が想定通りに沈静化しない場合は、利上げ再開を躊躇しない」との文言がなくなったほか、「政策金利を（高水準で）長く維持する戦略はインフレ収束を確実にするために適切であった」と結論づけられました。今後の金融政策は「実際のインフレ動向や市場のインフレ期待、インフレ見通し、需給ギャップ、およびリスクのバランスに依存する」との表現にとどまっていますが、声明文の重要な変更によって政策転換は近づいたと解釈できます。具体的な利下げ開始時期について、当社は引き続き今年8月（次回会合）を予想しており、市場予想も直近の調査で9月から8月に前倒しされました。

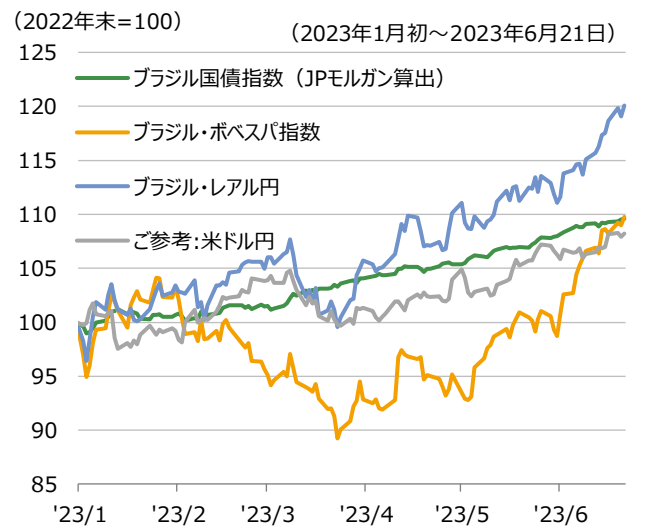
足元、ブラジル金融市場はトリプル高の様相を呈しています。他国に先駆けてインフレ抑制に成功し利下げ開始が視野に入中、海外からの資金流入が活発化することで、この傾向は続きやすいとみています。

ブラジルの政策金利と消費者物価指数



※市場予想は2023年6月～2024年12月
(出所) ブルームバーグ、ブラジル中央銀行

各資産と為替の推移



(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。